

科目名	包帯固定学				
分野	専門分野	担当教員	小笠原 史明		
開講時期	1学年 2・3学期	単位数	講義	演習	実技
時間数	60				2
科目の概要	基本包帯法を習得し、基本包帯法の応用、冠名包帯法が施行できるようにする。				
科目の狙い	基本包帯法、冠名包帯法が十分に施行できることにより、2年実技授業での整復位保持や再転位防止の患部の固定などの修得につなげる。				
学習の到達目標	実技試験において合格点を取れるまで、繰り返し練習する。				
学習方法・学習上の注意	身だしなみについての指導を行う。				
持参物	包帯、白衣、教科書				
講義計画	講義内容				
1	基本包帯法(環行・螺旋・蛇行・折転帯)				
2	基本包帯法(環行・螺旋・蛇行・折転帯)				
3	基本包帯法(亀甲帯)				
4	基本包帯法(麦穂帯)				
5	基本包帯法(麦穂帯)				
6	肩部・肘部				
7	肩部・肘部・手関節				
8	肩部・肘部・手関節				
9	手指部・膝関節・足関節				
10	手指部・膝関節・足関節				
11	総合練習①				
12	総合練習②				
13	総合練習③				
14	総合練習④				
15	総合評価(まとめ)				

16	大腿部・下腿部・足関節部
17	足関節・足趾部・胸部・背部
18	三角巾
19	頭部・顔面部
20	クラーメル副子を使用した固定法
21	総合練習①
22	総合練習②
23	総合練習③
24	総合練習④
25	デゾー右
26	デゾー左
27	ヴェルポー左右
28	ジュール左右
29	総合練習
30	総合評価(まとめ)
成績評価の方法と基準	実技試験を行い、成績は評価表にて採点を行う。
使用テキスト	包帯固定学改訂第2版(南江堂)
参考文献	図説包帯法第4版(医学書院)